

平成 26 年度どうなんファンド事業醸成対象団体審査結果

平成 27 年 1 月 22 日

与那国町

1. どうなん活性化事業支援助成申請団体審査結果

事業の 名称	いのちと夢のコンサート	与那国テキスタイル	Nuya-Kuya 製作事業部
申請 団体名	株式会社一天	プレタポルテ衣瑠都	どうぐいわり
交付 申請額	180,000 円	400,000 円	799,500 円
事業費 総額	225,000 円	410,500 円	905,930 円
①公益性	中学生を対象とした質の高いコンサートを開催することは、公益性があるイベントと評価できる。	テキスタイルに着眼し、与那国の特産品づくりを進めるという視点は、高く評価できる。	農と連携した商品開発は、今後の、与那国の産業振興において重要な視点であり、評価できる。
②持続性	次年度事業性について、言及しているもの、イベントの持続可能性については、疑問が残る。	WEB を活用した講座は、人材ネットワークづくりにもつながり、事業の持続可能性に期待が持てる。	実際に、販売する拠点やルートが確保されていることから、事業の持続性があると評価できる。
③発展性	民宿を拠点として、観光プログラムづくりへ発展する可能性を期待したい。	テキスタイルという観点から、与那国島の様々な資源を活用した特産品の開発を期待したい。	6次産業化を視野に入れており、事業の発展性について期待したい。
④妥当性	事業性の詰めが不十分であることから、『どうなんまちづくり活動』の方が助成の趣旨にかなう。	事業期間が短いとは言え、助成事業終了時点で、どのような成果を達成するか、明確でない。	デザイン費等の見積の詰めが十分でなく、実際にどの程度の支出が必要とされるか明確でない。
⑤実現性	3 月 18 日の招聘は確定しているため、事業の実現性は担保されている。	販売用 WEB 立ち上げを通じた、販路拡大については、事業の実現性が高いものと評価する。	既に、事業の具体化に向けた取組みが始まっており、事業実現性は十分にあるものと評価される。
⑥活動意欲	島の活性化に貢献したいという強い意欲が感じられる。	プレゼンは良く準備されており、説得力があり、事業の具体化に向けた意欲を評価する。	事業の内容については、明確な説明を行っており、事業に対する前向きな姿勢と評価する。
審査結果	どうなんまちづくり活動助成として、再申請をすることを前提として、助成対象団体として認定する。	テキスタイルという観点から、与那国のデザインイメージの確立・向上を図ることを期待し、助成対象団体として認定する。	地産地消を基本とした魅力的な与那国産品の事業化を期待し、助成対象団体として認定する。

2. どんなんまちづくり活動助成申請団体審査結果

事業の名称	与那国島の地域文化を象徴する御嶽の修繕及び修復
申請団体名	与那国いとなみネットワーク
交付申請額	200,000 円
事業費総額	350,000 円
①公益性	御嶽という与那国の歴史的・文化的資源保全活動であり、教育委員会では対応できない領域をカバーする公益性の高い活動として評価できる。
②持続性	平成 27 年度以降の事業計画も具体的に示されており、事業の持続性があると評価できる。
③発展性	今後、御嶽の保全に向けて様々な団体との協力を想定しており、活動の発展が期待される。
④妥当性	工事費に助成金申請を限定しており、その見積も妥当である。
⑤実現性	多様な資金調達主体が確保されており、事業実現性は高い。
⑥活動意欲	与那国出身の若者によるプレゼンは好感のもてるものであった。こうした新しい人材の活動意欲を引き出す取組み姿勢を高く評価する。
総合評価	ふるさと納税を原資とする当ファンド事業の趣旨に合致するまちづくり活動であり、島外からの応援も得て実施するに相応しい助成対象団体として認定する。